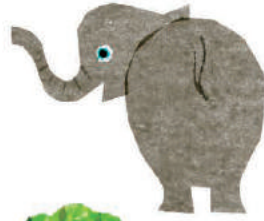




きたやま胃腸肛門クリニック  
〒154-0015  
東京都世田谷区桜新町2-2-14  
Tel:03-6413-1642  
https://colopro.jp



# からころクリニック+

CLINIC

みなさまからのご質問について、  
専門の先生に答えていただくコーナーです。

取材・文：編集部 イラスト：matsu

## 逆流性食道炎

北山大祐先生

きたやま胃腸肛門クリニック（東京都世田谷区）



**Q** ピロリ菌の除去によって「逆流性食道炎」になったと診断されました。食道がんのリスクも高くなると聞いたのですが、本当ですか？

**A** 「T・Mさん（60代）札幌市」（逆流性食道炎）とは？

健康な食道と胃は、その間の「噴門」がしっかりと閉じています。食べたものが逆流しないのは、筋肉（下部食道括約筋）と横隔膜が噴門の開閉をコントロールしているから（図参照）。ところが、筋肉が衰えたり、横隔膜の位置がズレたりすると、噴門が開きっぱなしの状態になって、胃液が食道に逆流してしまいます。

また、食道と胃のつなぎ目には「食道裂孔」という穴があります。この穴が何らかの理由でゆるんだ状態（食道裂孔ヘルニア）でも、胃液が食道に逆流し

ます。胃液に含まれる胃酸は、食べものを溶かす働きを持っています。強烈な酸ですから、逆流して食道にあがってくると、粘膜

に炎症を引き起こしてびらんや潰瘍を発生させることがあります。これが逆流性食道炎です。

と。年齢を重ねると身体や顔の筋肉が衰えて、肌がたるんだりシワができたりしますが、食道裂孔ヘルニアもそれと同じで、病気ではありません。ただし、胃酸が逆流しやすくなるので、胸焼けや胸のつかえなどを

痛み。これがおもな症状です。また、呑酸（たんさん）といって、すっぱい胃液が喉まで上がってくる感覚がある方も。ビー玉が喉に引っかかっているようだし……という方もいらっしゃると思います。症状は人それぞれです。

因は何ですか？

おもに、加齢です。ただし、生まれつき穴がゆるい場合もあります。お子さんで食道裂孔ヘルニアがある場合は、手術を選択することもあります。加齢が原因の場合は、手術をするケースはほとんどありません。

私の患者さんの中には、喉に違和感やヒリヒリとした痛みを感じたので、最初に耳鼻咽喉科を受診した方も多くいらっしゃいます。ずっとぜんそく状の咳が出ていて、呼吸器科の治療を受けていた方もいます（逆流した胃酸が食道の咳中枢を刺激）。結局、喉や肺には問題がないので、耳鼻咽喉科や呼吸器科の先生から紹介を受けることとなります。

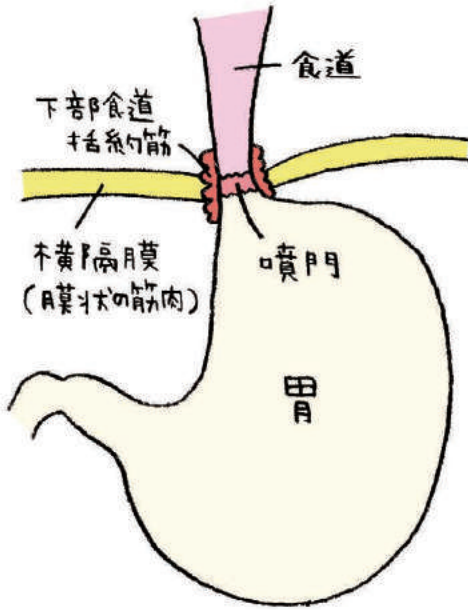
ヘルニアは、裂孔のまわりの筋肉が衰えて、胃の一部が横隔膜の上にはみ出した状態のこと

です。内視鏡検査で食道裂孔ヘルニアが確認された場合は、自覚症状の程度に応じて内服薬が処方され、つらい症状は改善されます。

逆流性食道炎の原因は、胃酸が逆流することにある？

食道裂孔ヘルニアがあるからといって、かならずしも逆流性食道炎になるとは限りません。食道炎の有無は内視鏡で確認しなければわかりません。

また、食道炎が認められないのに胸焼けや胸のつかえを感じ



ます。

また、食道炎が認められないのに胸焼けや胸のつかえを感じ

ます。



るケースも数多くあります。胃の動きが悪い、胃が荒れている……などが原因です。その場合は、胃の働きを助ける薬や漢方薬で症状が改善することもあります。

**——逆流性食道炎とピロリ菌除菌は、関係がありますか？**

胃がピロリ菌に感染していると、胃ががんになる可能性が高いことがわかり、多くの人がピロリ菌を除菌するようにしました。それにともなって、逆流性食道炎が増加していることも事実です。

ピロリ菌が胃の中にいると、胃液が減ります。胃酸の分泌機能が低下してしまう。逆にピロリ菌が除菌されると胃の動きが活発になり、胃液がたくさん分泌されます。そのときに、食道裂孔ヘルニアなどで胃液が逆流しやすくなっていれば、逆流性食道炎になってしまうわけです。患者さんの中には、胃酸があがってくるのは苦しいので、ピロリ菌を除去しないではほしいという方もいらっしゃいます。しかし、それでは胃がんになる確率が高くなってしまいます。まずはピロリ菌を除菌して、胃を健康的な状態にしたうえで、逆流性食道炎を治療します。

**——逆流性食道炎は、食道がんになるリスクを高める？**

現在までのところ、がんとの直接的な結びつきは認められていません。食道の炎症が長期化すると、ダメージを受けた食道粘膜の細胞が形を崩して異型を作ることがあるという報告もありますが、がんのリスクは考えられていません。

**——逆流性食道炎の治療方針と、生活面で気をつけることは？**

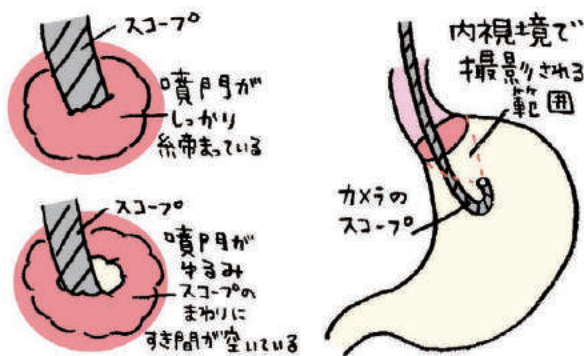
ここ数年、胃酸の生成を抑制する「タケキャブ」という薬が処方されることが多いと思います。とてもよく効く薬で、服薬後数時間で効果が出ます。しかし従来の薬にくらべて高額で、長期にわたって服用するには保険診療上の制約の多い薬です。

胃酸が逆流しはじめる急性期にはタケキャブを使い、症状が落ち着いたら早めに量を減らしていくようにしましょう……というのが国の定めるルールです。

胸焼けや喉のつかえ感などの症状に関しては、「ネキシウム」という薬が処方されることも多いと思います。こちらは比較的に長期間の服用がしやすい薬です。日常生活に関しては、食べてすぐに横にならないことも大切

です。横になると、逆流しやすくなります。できれば、夕食を早め（たとえば、就寝時間の3時間前）に食べてください。胃の中のものが消化されているはずなのに、どうも逆流が気になって眠れない……という場合は、枕を少し高くしてお休みください。

ただし、胸焼けひとつでも、いろいろな病気の可能性があります。胃は、ストレスにも敏感に反応します。メンタル面からの不調も多いので、まずは内視鏡での検査をおすすめします。



**「からころ」  
年間購読受付中！**



「からころ」を年間購読しませんか？

3月、6月、9月、12月の年4回、ご自宅へお届けします。年間購読は980円（送料・税込）。お申し込みいただいた方には「からころ」オリジナルポストカードをプレゼントいたします！ 下記の窓口よりお申し込みください。

- お電話でのお申し込み 03-6838-2833（平日9時～17時）
- インターネットでのお申し込み <http://karacoro.net/application/>

<お支払い方法>  
まずは払込用紙を送付いたします。入金確認後、「からころ」を発送いたします。あらかじめご了承ください。

**おたより募集！**

「わたしの闘病記」（600字程度）への投稿、イラストの投稿、「からころ川柳」への投稿、「からころなんでも相談室」へのご質問、「おたよりひろば」へのお手紙など、読者のみなさまからのおたよりを心からお待ちしております。採用された方には「からころ」オリジナルポストカードをプレゼントいたします。なお、おたよりは、からころウェブサイトでもご紹介させていただきます。

あて先：〒100-6612 東京都千代田区丸の内1-9-2  
グラントウキョウサウスタワー12F 株式会社 e健康ショップ  
FAX：03-6838-2913 e-mail：info@karacoro.net

**「からころウェブサイト」も要チェック！**



最新号の内容、「よくわかる医療最前線」の閲覧、おたより、川柳の紹介、バックナンバーの購入、配布施設の一覧、オリジナル壁紙など盛りだくさんのサイトです。

<http://karacoro.net>